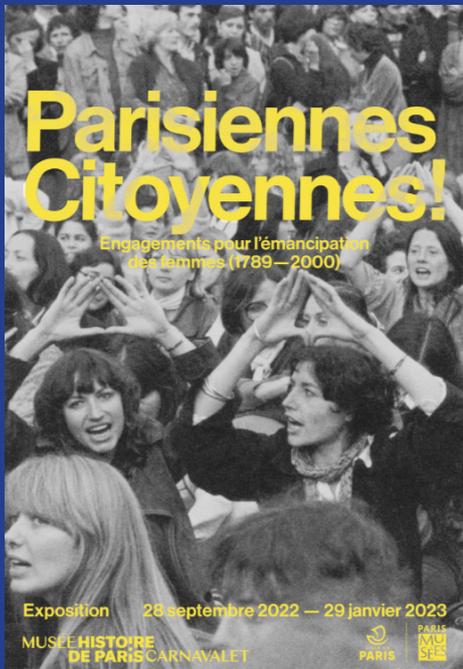


対面実施

# パリの女性市民たち、 女性の解放のための闘い、 1789年－2000年

講師：クリスティーヌ・バール

司会：中山信子（ジェンダー研究所招聘研究員）



日時：2023年3月2日（木）  
14:00～16:00（質疑応答30分）

会場：早稲田大学戸山キャンパス  
33号館16階第10会議室

使用言語：フランス語（資料：日本語）

主催：早稲田大学ジェンダー研究所

共催：日仏女性研究学会、（公財）日仏会館、  
日仏会館・フランス国立日本研究所

パリのカルナヴァレ歴史博物館で2022年9月28日から2023年1月29日まで、「パリの女性市民たち！女性解放のための闘い、1789年－2000年」という企画展が開催されました。この企画展はフランス革命からパリテ法制定までの、パリの女性市民たちの女性解放のための闘いの歴史をたどるものです。この企画展の監修をされた、アンジェ大学教授のクリスティーヌ・バール氏に、企画展の内容について、またその意図と意義について3月2日に早稲田大学ジェンダー研究所でご講演をいただきます。

クリスティーヌ・バール氏は、フェミニスト歴史学者で、多数の著書を上梓されています。主なものに編著書『フェミニスト辞典、フランス18世紀－21世紀』（2017年、PUF）、『ズボンの政治史』（2010年・2014年、Le Seuil、翻訳出版予定）があります。今回バール氏は2023年3月4日に日仏会館ホールで開催予定の、日仏女性研究学会主催の国際女性デー記念シンポジウム「女性と表象 服飾・モード・ジェンダー」に参加されるために日仏会館の招聘により来日され、「ズボンの政治史（フランス1789-2022）」という講演をなさいます。